



開発プログラム 2026

<子供たちの「やってみたい」「やりたい」>

開発プログラムの体験を通して、
子供たちの力を育みます
「自分たちで課題を立て、その解決に向けて
情報を集めたり話し合ったりする」

一般社団法人 横浜すぱいす

代表理事 北村 克久



2026年度開発プログラム一覧

	プログラム	講師	連絡先
1	プログラミング教室	遠藤 守康 (えんどう もりやす)	mohrie4170@gmail.com 080-9434-8610
2	ワクワク図工教室	齋藤 信一 (さいとう しんいち)	ss775410@gmail.com 090-3427-9484
3	キッズ防災教室 (親子防災教室・スタッフ研修)	鷲山 龍太郎 (わしやま りゅうたろう)	wasshiy@me.com 080-1077-4537
4	子どもかけっこ教室校庭編	茂野 充恵 (しげの みちえ)	s-kmyk.michie@ezweb.ne.jp 090-3068-7044
	子どもからだづくり体育館編		
	親子からだづくり教室		
5	SDGsミニ講座	横山 多摩姫 (よこやま たまき)	t.yokoyama@y-spice.com 080-6567-4580
6	Let's play 百人一首!	仙田 くに子 (せんだ くにこ)	senchan_925@yahoo.co.jp 080-1205-6835
7	言葉遊びミニ講座	松永 立志 (まつなが たてし)	demanku-3-1-yo@u01.gate01.com
8	尺八を鳴らしてみよう	相藤 康生 (あいとう やすお)	aitohtake@gmail.com 090-7428-8317
9	香りと自分 ~香樂~	若林 佳代子 (わかばやし かよこ)	kayonosin-5152@docomo.ne.jp 090-4390-6268
10	読み聞かせの時間	平良 幸子 (たいら さちこ)	045-303-6869 090-8811-8464
11	横浜すぱいす食育の時間	椎野 雅子 (しいの まさこ)	m.shiino@y-spice.com
	親子で「はし名人」にチャレンジ		
	親子で「日本茶を味わおう」		
	親子で「だしについて知ろう」		
12	力を合わせて完成! グループワークトレーニング	井坂 みち子 (いさか みちこ)	080-1192-6306
13	川柳をつくって楽しもう	熊田 松雄 (くまだ まつお)	kuma5023op@docomo.ne.jp 090-5430-2934
14	化石ハンターになろう	北村 克久 (きたむら かつひさ)	k.kitamura@y-spice.com 090-8744-4095
15	生成AI親子教室		

開発プログラム日時決定のための カレンダーシステム利用の手順

- 1 開発プログラムは、重点多岐な目標を掲げました。
- 2 希望するプログラムが見つかったら、メールや電話で講師に相談して下さい。
- 3 講師と相談の上、日時が決定したら、カレンダーシステムに入力して下さい。
- 4 早い者勝ちという形になります。
- 5 講師と連絡する際に、まず、カレンダーを見る。という所から出発して下さい

<アクセス先> (お客様・管理者で共通してください)

<http://y-spice.com/sche-afterschool/sche7.cgi>

右 QR コードで飛ぶ先はリンクと同じです。
スマホでもご覧になれます。



<管理用パスワード> (管理者だけで共有してください)

hkg37415

【基本画面】→登録してあるスケジュールが表示されます。



- ・ここから管理者画面に入ります。
- ・パスワードは上のとおり

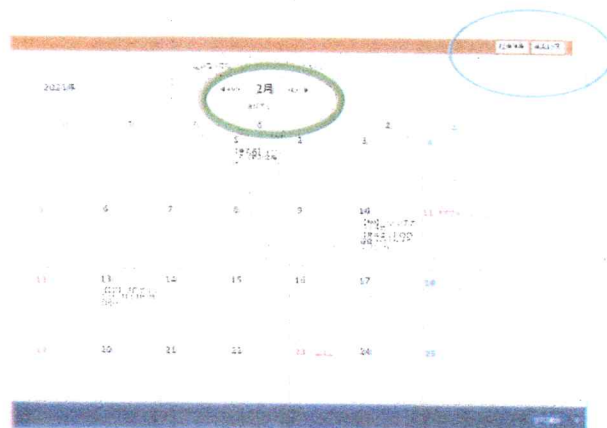
【記事編集】ページ (管理者専用)

- ・空白に予定を入れて、上部の日別の欄に
<緑の丸>の「登録する」ボタンで OK
反映されているかを確認するには左上の
「ログアウト」を押してあげる必要があります
- ・色を付けたりリンクを貼ったりができない
(HTML タグも反映しません)ので、

これを使う場合は文字の書きぶりで工夫する
必要があります。

<青丸>設定画面などに移動/カレンダー入力画面に移動

【困ったときの連絡先 090-8744-4095 代表 北村克久】



プログラミング教室 実施概要

<子供たちへの意識化とプログラムの目的>

自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりする

1 プログラムの意図（講師の思い）

各学校でのプログラミング学習を少し補填できたらと思っています。特に車型やドローンなどは学校にはないので楽しくできると思い企画しました。

2 実施内容

タブレット端末を使ったプログラミング学習を行います

scratchjr viscuitなどのプログラミング言語でキャラクターを動かして楽しむ学習と車型ロボットまたはドローンをプログラム通り動かす学習です

タブレットは10台用意しています。

ドローンは当日体育館が使える学校のみです

3 対象

2年生以上 2人1組で10組まで

ドローンは3~4人1組で5組まで

※親子で1組でも実施できます（各キッズにお任せします）

4 プログラム実施日

月、火、木、金、土曜日、長期休業中

ドローンは11月以降

5 実施時間

15~18時（長期休業中は10~18時）1時間程度

6 その他

キッズクラブのスタッフの手伝いや児童の安全管理（最低1名）をお願いします。

scratch、viscuitの回について、自分でタブレットを持ち込んで活動できる人は対象の参加人数には入らないので、募集人数以外で参加できますが、参加上限数については各キッズにお任せします

7 講師料

3,000円（講座終了時に直接受け渡し）

8 講師連絡先

遠藤 守康 mohrie4170@gmail.com

080-9434-8610

ワクワク図工教室

<子供たちへの意識化とプログラムの目的>

自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりする

「ワクワク図工教室」は、「自主的な学習」を促し「わかる喜び」や「多様な学習経験」を通して、自信をつけたり学習意欲や学習習慣を身に着けたりしていくことが目的で設定しました。

1 プログラムの意図(講師の思い)

図工教室では、様々なコンテンツにチャレンジしていく中で興味をもって楽しく活動し遊び自ら作り出す喜びを体験できるようにしています。また、自分の手や頭を働かせ、自分自身が活動することでイマジネーションが刺激され創造性や意欲、やり遂げようとする気持ちが育つことが期待できます。

2 プログラムの内容(30分~45分)

・複数の講座内容は、サンプルの中から好み、実情に合わせて選択してください。

- ① フライング・カップ 紙コップで作る不思議な飛行体
不思議な飛び方に驚き、挑戦する意欲がわきます。翼の原理・揚力の体験です。
- ② 星形トレイ A4の紙で作る星形のトレイ
A4の紙から正五角形を折ることの体験です。
- ③ カスタムエアプレーン 画用紙のパーツを組み合わせて作る飛行機
細長い長方形のパーツを組み合わせて飛行機を組み立てます。主翼を重心につける等の体験ができます。
- ④ ○で絵を描く 画用紙に○をいっぱい描いて思いつくものを描く
画用紙に○の形を写す楽しさを体験する中で想像力を刺激し絵やデザインにします。
- ⑤ 竹とんぼ・コマ 厚紙と竹串で作る竹とんぼとコマ
身近な材料も工夫次第で遊び道具になることを体験します。
- ⑥ パタパタ紙飛行機 蝙蝠のようにパタパタ羽ばたく紙飛行機
折り方によって不思議な動きをする紙飛行機ができることを体験します。
- ⑦ クリスマスリース 折り紙で作ったリースにリボン等で飾り付け
折り紙で折ったパーツを組み合わせて作ったリースにリボン、ボンボン、スパンコールを自分の思うままにデザインします。

○準備、必要なもの

材料や道具などはサンプル写真と一緒に記載してあります。

材料や道具などキッズで準備できるものはお願いします。できないものは要連絡です。

3 対象

- (1) 一年生から実施可能です。人数は、何人でも可能です
- (2) 親子でも実施できます(土曜日・長期休業中)

4 プログラム実施曜日

- (1) 月~土曜日、相談の上実施します

5 プログラム料(交通費込み)

- (1) 子どものみ (30~45分) 3000円/1回(材料費別)
- (2) 親子プログラム(60~90分) 5000円/1回(材料費別)

ワクワク図工教室 当日実施概要

「ワクワク図工教室」は、「自主的な学習」を促し「わかる喜び」や「多様な学習経験」を通して、自信をつけたり学習意欲や学習習慣を身に着けたりしていくことが目的で設定しました。

○事前の打ち合わせのお願い

- ・材料の用意、使用する道具等の準備についての確認
- ・活動する場所の確認

○当日の流れ

サンプルを見せてチャレンジするものを伝え、何が必要かを考えさせる。材料を配布し指導しながら製作させる。動かして遊ぶものは作って遊んでから、絵をかいたり色を塗ったりして楽しめます。

○スタッフへのお願い

- ・参加予定人数の連絡
- ・サポートを希望すること

○今までの実施例

写真を加えて実施例

「タネコプター」回りながら落ちる植物の種から発想した回転翼型の飛行体

材料 ストロー(蛇腹付き)1本 輪ゴム1本

クリップ1個 割りばし1膳

クリアフォルダーを2×15cmに切ったもの

ビニルテープ、ハサミ、油性マジック

① ストローでタネコプターの軸を作る

② タネコプターの羽を軸につける

折り目から15cm、幅2cmに切ったクリアファイルを軸と組み合わせて張る

③ 軸につけた羽を折って広げる

軸と組み合わせた羽を折って広げる

④ タネコプターを打ち上げるランチャーを作る

割りばしにクリップをつけて発射台を作る

⑤ 遊ぶ



6 プログラム料支払いについて

当日現金でお願いします。振り込みの場合は下記口座にお願いします。

振込口座 ゆうちょ銀行 028 7883294

7 講師連絡方法

齋藤信一(さいとう しんいち) 045-363-7172 or 090-3427-9484

放課後学習支援 開発プログラム

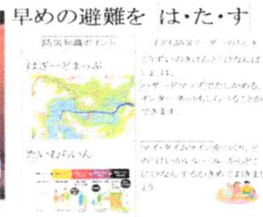
「キッズ防災教室」(親子防災教室・スタッフ防災研修)

＜子供たちへの意識化とプログラムの目的＞

自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりする

- 1 プログラムの概要 (1回の内容30分程度 90分で3内容:地震・火災・風水害親子イベント可能)
 地震、家事、風水害から、自分と家族を守るためにはどうしたらいいのでしょうか?
 防災レンジャーが出す問題を考えて、リモートでミニ防災授業をします。内容によっては現地開催可能。

回	テーマ	防災の基本
1	家で火事が起きたら?	「ひ・け・し」(ひなん・けす・しらせる)「避難・初期消火・通報」が防災の基本。火災から命を守る3つの知識。二方向避難・防火シャッター・死の危険がある煙(に・ぼ・し)
2	台風・洪水から命を守る	「は・た・す」(ハザードマップ・タイムライン・ひなんスイッチ) ハザードマップで知る自宅の危険と避難場所。 「マイ・タイムライン」で考える早めの行動。避難スイッチを ON。
3	家にいるときに大地震が起きたら?	「あ・し・た」(あんぜんスペースへ・しよきしょうか・たすけあい) 地震を感じたら、安全スペースへの避難! 初期消火。まず、近所で助け合う。耐震化、家具固定の大切さ。「循環備蓄」の大切さ。



講義終了後消防設備の使い方を調べる子どもとスタッフ

スタッフがレンジャーになって寸劇参加

2 対象・開催形態

- (1) 一年生から実施可能です。人数は、何人でも可能です親子でも実施できます(土曜日・長期休業中)
- (2) スタッフの防災研修(学校防災との連携・消防法に基づくスタッフ自衛消防組織実動訓練等)
- (3) リモートを基本としますが、親子防災教室、スタッフ防災研修など現地開催も可能です。
- (4) 体験の実験も実施可能です。(長周期地震動、液状化、耐震、家具固定実験など)

3 講師 防災士 鷲山龍太郎 元横浜市立小学校長 講師HP:未来防災 NET mirai-bousai.net

4 プログラム実施曜日 月～土曜日、夏休み中、相談の上実施します

5 プログラム料 放課後キッズリモート1回 2,000円/30分 親子イベント 1回 5,000円/60分～90分
 現地開催の場合の交通費:瀬谷区・保土ヶ谷区等往復 3,000円(耐震・家具固定実験モデル等車で持参)

「体づくり教室」「かけっこ教室」 実施概要

<子供たちへの意識化とプログラムの目的>

自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりする

1 プログラムの意図(講師の思い)

「体づくり教室」「かけっこ教室」では、マット運動や走るという動作を中心に、運動を楽しみながら体づくりをしていきます。丈夫でしなやかな体をつくることを目的としていますが、友だちと楽しみながらコミュニケーションを図ることも大切にしています。また、親子体づくり教室では、運動をすることにより、スキンシップを図り一緒に運動を楽しむ!同じ時間を楽しく過ごすということを目的としています。

2 プログラムの内容(1回 約 60 分)

- ① かけっこ教室 (体育館・グラウンド) ※グラウンド希望の場合、雨天時について要相談
運動会へ向けて、短期でのスピードアップを目指します。また、日々の運動の基本である走り方を練習し体づくりをしていきます。
- ② 体づくり教室 (体育館)
マットを使用し、体づくりをします。美しい前転、まんまる後転、ブリッチ、倒立、側転、壁倒立マスターを目指し、体づくりをしていきます。
マットを使用できない場合の内容もご用意しております。ボールやフープ等、使用できる物があれば、内容に取り入れられます。マット運動+その他 という組み合わせも可能です。
- ③ 親子体づくり教室 (体育館)
親子で体を動かしながら、お互い協力し合い運動を楽しみます。スキンシップしながらの運動で心も体も元気になります!
また、マットを使用し、ブリッチや側転、倒立も楽しめます。保護者の方に安全な補助方法をお伝えしますので、楽しみながら技を完成させていきます。
マットが使用できない場合の内容、ご相談ください。



連絡先: 茂野 充恵 (しげの みちえ)

E-Mail: s-kmyk.michie@ezweb.ne.jp

携帯電話: 090-3068-7044

3 対象

- ① かけっこ教室 (1回60分 最大20名)
- ② 体づくり教室 (1回60分 最大15名)
- ③ 親子体づくり教室(1回60分 最大10組 20名)

親子体づくり教室を実施する場合は、保護者会等の日に設定されることが多いです。

※学年ごとに人数やグループを分けたり、当日2回の開催も可能です。(60分×2回)

若干人数が多くなる場合、ご相談ください。極力希望に添いたいです!

4 プログラム実施曜日

(1)土曜日、日曜日、月曜日、学校の長期休暇など、ご相談の上実施します。

※プログラムを変更しながらの3回セットもご用意しています。

例)月に3回、1年に3回等、平日の放課後も併せた日程調整、ご相談させていただきます。

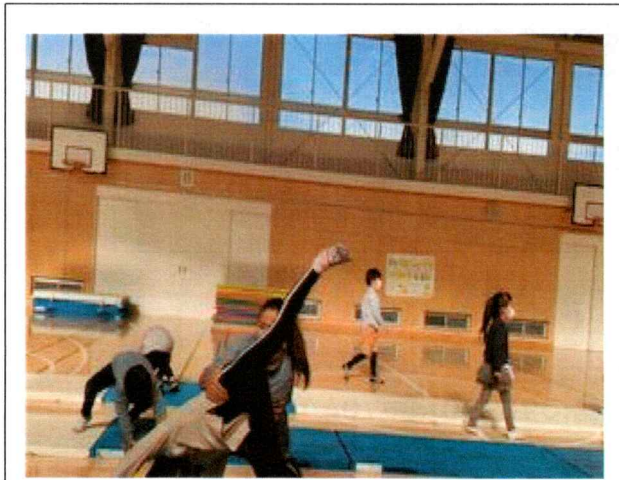
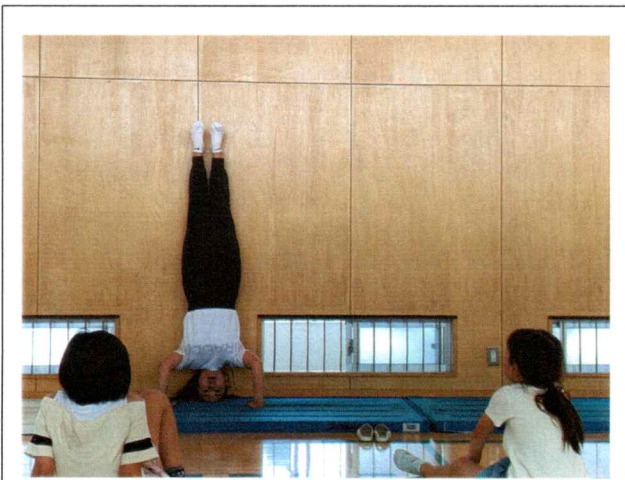
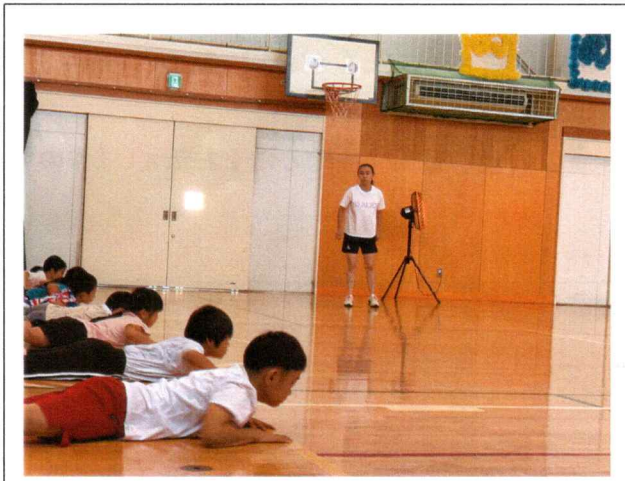
5 プログラム料

- ① かけっこ教室、体づくり教室 (1回 3,000 円)
- ② 親子体づくり教室 (1回 6,000 円)

※1,000 円(交通費別途)いただきますが、駐車場をご用意していただける場合は、交通費はいただきません。

6 実施場所

- ① かけっこ教室 (グラウンド・体育館どちらでも可能です。グラウンドをお選びいただいた場合、雨天時の対応をご相談させていただきます。)
- ② 体づくり教室 (体育館で行います。マットをお借りしたいです。ボール等お借りできるものがあるとプログラムが充実します。)
- ③ 親子体づくり教室(同上です)



SDGs ミニ講座 実施概要

<子供たちへの意識化とプログラムの目的>

自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりする

1 プログラムの意図（講師の思い）

「SDGs ミニ講座」は、社会で話題になっている SDGs（主に環境問題）について、動画やクイズなどを使いながら楽しく考えることを大切にしています。主に低学年を対象としているプログラムで、学校の授業で本格的な環境問題に取り組む前段階として、身近な課題を取り上げることで、「様々な解決しなくてはならない問題があって、自分自身にも深く関係している」ということを知り、「学習意欲」や「将来への希望」を育み、興味をもつきっかけになるよう設定しました。

2 プログラムの内容（1回 30分間）

今回の SDGs ミニ講座は、ESD推進事業部がWWFジャパンと共同開発したOPLプログラムガイドの内容を元に、小学校低学年向けに短時間で楽しみながら参加できるようにアレンジを加えて、「子どもたち自身の行動も環境問題とつながっている」ということを感じてもらう講座になります。

昨今よく耳にする「SDGsとは何か」ということからはじめ、普段食べているポテトチップスと熱帯林の関係による環境問題や、自分たちの生活とマイクロプラスチックの話を題材として、動画やクイズを使いながら、子どもたち自身の毎日の行動が地球の環境問題とつながっていて、誰にでも今日からできる「小さな一歩」があるということを知ってもらえるように進めていき、テレビや授業などでキーワードが出てきたときに「あ！何か聞いたことがあるぞ」と興味・関心をもてるきっかけになることを目指します。

	テーマ	内容
第1回	「SDGs」って、何のこと？	最近よく耳にする「SDGs」について、意味や何を目指しているのか、どんな項目があるのかを、オンラインの動画を使いながら触れ、SDGsとは何かを学びます。
第2回	ポテトチップスと森の話	ポテトチップスに使われているパーム油によって、森の環境破壊が起きていることを知り、環境問題が自分の行動にもつながっていることを学びます。
第3回	ペットボトルごみは、どうなるの？	ペットボトルやプラスチックが再利用される一方で、細かくなりすぎたプラスチックの破片がマイクロプラスチックとして海洋に流れ出し、海の生物たちの命を脅かしていることを知り、環境問題が自分の行動にもつながっていることを学びます。

※3回すべてオンライン講座（Zoom）／30分間です。

3 準備、必要な物

Zoomが使用できる環境（インターネット通信環境・PC）、テレビモニター、鉛筆、ワークシート（事前にデータをお送りしてプリントアウトしていただく）

※動画が円滑に再生できるかの確認として、講座当日までに一度、打ち合わせ兼 zoom 接続テストを行います。

※講座中はできるだけお子さんたちに発言してもらいたいため、指名や促しなどのご協力をお願いいたします。

4 対象

一年生～(主に低学年のお子さん向け・親子参加設定はなし)。人数は、画面が見えれば何人でも可能。

5 プログラム実施曜日

月～土曜日、相談の上実施します。

6 プログラム料

全3回 4500円。単発での対応も可能です(1500円/1回・30分間)

プログラム終了後、プログラム料のお支払いを下記口座、もしくはPaypayをお願いいたします。

楽天銀行(銀行コード 0036)

エンカ支店(支店コード 216)

普通口座 4135554

ヨコヤマタマキ

※銀行振り込みの場合は、振込手数料のご負担をお願いいたします。

PaypayID: tamakko_777

7 流れ

<当日までに・・・>

当日1週間前までを目途に、Zoomで15分ほど事前打ち合わせ、および動作確認を行います。

複数台つなぐ、カメラを使うなど、当日使うものをこの時に試していただくと、当日慌てなくて済むのでおすすめです。

<当日>

- ① 15分前にZoomに接続します。ご準備ができましたら、接続をお願いいたします。
(Zoomのリンク先は、事前打ち合わせ時にお伝えします。)
- ② 講座では、お子さんに考えを発表してもらったり、発言してもらったりします。
指名や促しなど、適宜声掛けをお願いいたします。
また、基本的にはワークシートに書き込みして考えをアプトプットしてもらう形で進めますが、お子さんの様子や状況、ご希望に応じてワークシートの有無を選んでいただけますので、合わせて打ち合わせ時にご相談ください。
- ③ 時間になりましたら、講座終了となります。
挨拶をして接続解除します。
- ④ 講座終了後、その日の参加人数と簡単な感想をメールで教えてください。
- ⑤ お申込みいただいている講座がすべて終了しましたら、2週間以内を目安に上記の支払先にプログラム料のお支払いをお願いいたします。

8 ご連絡先

一般社団法人 横浜すばいす

ESD推進事業部

横山多摩姫(よこやまたまき)

t.yokoyama@y-spice.com 080-6567-4580

放課後学習支援 開発プログラム

「Let's play 百人一首!」 実施概要

<子供たちへの意識化とプログラムの目的>

自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりする

「Let's play 百人一首!」

「たかがカルタ、されどカルタ」百人一首を通して子どもたちの学習支援を行ってきました。確かに計算力、漢字の力、文章読解など基本的な学習能力は大事です。しかしながら子どもたちの「やる気」「意欲」に勝るものはないと考えます。「急がば回れ」の言葉通り、百人一首を通して、学習意欲、社会性、自己肯定感、達成感 夢や希望を育むことができました。そして、基本的な学習能力を身に着けることができました。ぜひ、トライしてみてください。

1 プログラムの意図

五七五七七の短い文章で日本の四季や恋心（これはまだ理解できないだろうけど）が詠まれています。意味はわからなくてもその響きの良さに触れ、心地よいリズムで復唱することができます。日本語にしかない繊細な言葉の美しさをできるだけたくさん子どもたちに教えてあげたいと思います。

また、勉強の楽しさが感じられにくい暗記を競技カルタに勝ちたいという動機のおかげで楽しく練習できます。実際、昨年度2年生の女子、30首覚えていました。競技に勝ちたいという強い思いからの行動には私たちも驚かされました。聞く力が付き、集中力も高められるので他の教科も成績があがったという男児がいました。

社会的なマナーも身につきます。始め、終わりの挨拶はもちろんのこと、姿勢が悪かったりずるいことをしたりすると容赦なく周りから注意されます。

2 プログラムの内容(30分~45分)

「五色百人一首」(なければ、持参しますが4人に1セット)

3 対象 2年生以上

慣れてくれば、宿題やプリント問題を終えた後、10分ぐらいを利用して毎回百人一首をやっています。(続けることで意欲がアップします)



4 プログラム実施曜日

月曜日を除く 相談に応じます

5 プログラム料

(1) 子どもプログラム 3,000円/1回(30~45分)

(2) 親子プログラム 5,000円/1回(60~90分)

振込先



6 講師連絡先

横浜すぱいす 仙田くに子 senchan_925@yahoo.co.jp (080-1205-6835)

言葉遊びミニ講座 実施概要

<子供たちへの意識化とプログラムの目的>

自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりする

1 プログラムの意図(講師の思い)

「言葉遊びミニ講座」は、長く親しまれている言葉遊びを通して、語彙を豊かにし、言葉を用いること自体を楽しみ、言葉そのものがもつ豊かさに気付くことをねらいとする。学習指導要領においても、低学年を対象として位置付けられているため、授業での学習活動にも発展していくことを願っている。

2 プログラムの内容(1回 30~45分間)

今回の「言葉遊びミニ講座」は、リズムカルな「言葉遊び歌」、「早口言葉」、「しりとり」などの内容を、あらかじめ印刷したプリントを配付して、それをテキストとして、小学校低学年向けに短時間で楽しみながら言語活動できるようにする。

さらに、「回文」や「折り句」などを、家庭でも作って持ち寄るようにして、言葉遊びに対する興味・関心が、広がっていくことを目指すようにする。

テーマ	内容
「言葉遊び歌」「数え歌」の、リズム音読	谷川俊太郎の「言葉遊び歌」を、言葉のまとまりに気を付けながら、グループ毎にいろいろなリズムを楽しみながら音読する。
「早口言葉」「なぞなぞ」	代表的な「早口言葉」や「なぞなぞ」を取り上げ、グループ毎に楽しく言葉遊びをする。
「しりとり」「積み上げ歌」	ルールを変えながら、グループ毎に、楽しくしりとり遊びをする。

※すべて対面とするが、オンライン講座(Zoom)でも可。/およそ30分間です。

3 準備、必要な物

ワークシート(当日人数分コピー)、画用紙の短冊、マジック、掲示用マグネット

ONLINEの場合は、インターネット通信環境(PC)、テレビモニター、

※講座中は活動を円滑に進めるため、資料や用具の配付や掲示等ご協力をお願いいたします。

4 対象

一年生~(主に低学年のお子さん向け)。人数は、画面が見えれば何人でも可能。保護者同伴の親子プログラムでも可。参加者の構成によって、内容を変更することもあり。(回文、折句など)

5 プログラム実施曜日

月~土曜日、相談の上実施します。

6 プログラム料

対面 3000円/1回(30~45)、親子プログラム 5000円/1回(60~90)

ONLINE 全3回 4500円。単発での対応も可能です(1500円/1回・およそ30分間)

当日現金が理想【振込先】横浜銀行・本店営業部・普通口座 1127945 マツナガタテシ

7 講師連絡先

松永 立志 demanku-3-1-yo@u01.gate01.com

電話に出ないことが多いので、メールでの連絡をお願いいたします

放課後学習支援 開発プログラム

竹(尺八)を鳴らしてみよう 実施概要

<子供たちへの意識化とプログラムの目的>

自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりする

1 プログラムの概要 この講座は、日本に伝わる竹の楽器「尺八」の音について学ぶ時間である。

子供たちは学校の音楽の学習において、縦笛のリコーダーを学んでいるが、尺八の音を出すには少々の工夫を必要とする。リコーダーの吹き口には、一定方向に空気が流れるようにスロツトルが設けられ、息を吹き込むだけで音がでるが、尺八には、一定方向に空気を流すスロツトルがないので、息を吹き込む角度を探ることが求められる。そこで、まずは、全ての尺八の指孔(5つの孔)を明けて音を出すことから始め、尺八の指孔を一つずつふさいだ音(Re Fa So Ra Si Do)をつかった曲を演奏するまでの3回の講座とする。

また、リコーダーと比べながら、尺八の音の特徴を感じ取ることができるよう学ぶとする。

テーマ	内容
尺八とはどんな楽器	<ul style="list-style-type: none">・尺八の音を聴く・尺八の形状を確かめる(ここでは、塩ビ管尺八を利用する)・ Re(D 開放音 イ)の音を吹く。・ 尺八には乙(おつ 低い音)と甲(かん 高い音)があることを理解する
尺八の基本となる五つの音を吹く (ロ ツ レ チ リ ロ)	<ul style="list-style-type: none">・ リ(Do)を吹く・ チ(Ra)を吹く・ レ(So)、ツ(Fa)、ロ(Re)を吹く・ 五つの音を続けて吹く
五つの音を使った曲を演奏する	<ul style="list-style-type: none">・ リコーダーで演奏する・ リコーダーと尺八で演奏する・ 尺八だけで演奏する・ 虚無僧尺八という伝統の音があることを理解する

2 対象

高学年以上。人数は、10人前後です

3 準備、必要な物

尺八(講師側が用意する)、つゆ通し(ハンカチ 息が結露するので溜まった水分をふき取る)

4 プログラム実施曜日

月~土曜日、相談の上実施します。

5 プログラム料 3000円/1回

プログラム終了後、プログラム料のお支払いを下記口座にお願いいたします

横浜銀行・阪東橋支店(店番号313)・普通口座 0219248 アイトウ ヤスオ

6 講師連絡先

横浜すばいす あいとう竹声(相藤康生) aitohtake@gmail.com 090-7428-8317

こうがく
「香り^{こうがく}と自分」香楽 実施概要

＜子供たちへの意識化とプログラムの目的＞

自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりする

「香楽」は、「自分自身」を大切に、「自己肯定感」を味わうことを目的として設定しました。香りを通して自分と向き合いながらイメージしたことを表現します。講師や友達同士、親子の交流を、香りを通して自己表現しながら行う中で、社会性やコミュニケーション能力を育みます。

1 プログラムの意図(講師の思い)

香楽(こうがく)とは嗅覚を使った新しい五感の情操教育です。

花やフルーツ、樹木などいろいろな香りから受けるイメージを絵や言葉で表現し、それらの香りを混ぜ合わせてオリジナルの香りを創ります。目には見えない香りのイメージは十人十色です。比較されることの多い日常の中で、評価ばかりが気になったり、自信を無くしたりストレスで無気力やうつになる子供たちが多くいます。

香りのイメージは皆違って当たり前であり、同じものは一つもありません。香りの表現は比較・優劣のないのびのびした自由な世界です。香りによって心を柔らかにし、安心できる空間の中で本来の自分を取り戻し、感性を磨きながら新しい自分を発見しましょう。

2 プログラムの内容(30分~45分) ※ 香の具基本セット・・・香の具 3種類の香り

	テーマ	内容
1	香りを観る I 子供のみ・親子	香りをおいてイメージを感じよう。 香りから感じるイメージを絵で表現してみよう。 ＜香の具基本セット+A(4種類の香の具)＞
2	香りを観る II 子供のみ・親子	香りから感じるイメージを絵や色・言葉などで表現してみよう。 ＜香の具基本セット+B(4種類の香の具)＞
3	香りを作る III ＜親子プログラムのみ＞	香りから感じるイメージを絵や色・言葉などで表現してみよう。 1・2回で観たA・Bの中からどちらかを選んでできたイメージを絵や色、言葉を使って表現し、香りに置き換えイメージした香りを創ろう。 ＜香の具基本セット+A or B(4種類の香の具)＞

3 対象

- (1) 一年生から実施可能です。人数は、何人でも可能です
- (2) 親子でも実施できます(土曜日・長期休業中)

4 プログラム実施曜日

- (1) 月~土曜日、相談の上実施します

5 プログラム料(交通費要相談)

- (1) 子どものみ 3000円/1回(材料費:なし)
- (2) 親子プログラム 3000円/1回(材料費:持ち帰りの香水があるので1000円/1人)

6 連絡先

若林 kayonosin-5152@docomo.ne.jp

「読み聞かせの時間」 実施概要

＜子供たちへの意識化とプログラムの目的＞

自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりする

1 プログラムの意図（講師の思い）

いろいろな絵本等の読み聞かせを通して、子供たちが読書の楽しさを味わうことをねらいと捉えています。読み聞かせにより、場面の様子を想像したり、登場人物の心情を読み取ったり、自分事として感じたりする力を培っていきます。

さらに、「尊敬する人」や「憧れる人」がいないという調査結果を踏まえ、伝記や偉人伝などを紹介し、いろいろな人を知る機会になればと考えています。

子供たち一人ひとりが「大好きな一冊の本」に出合え、進んで本に親しめることを願って、「読み聞かせの時間」を考えました。

2 プログラムの内容（1回 30分間 × 低学年グループ&高学年グループ 2セット）

	テーマ	内容
第1回 ～ 第3回	楽しもう！ 「読み聞かせタイム」	・楽しい内容の大型絵本で本に対する興味関心を引き出します。 ・季節や社会の流れに合う絵本やシリーズの絵本、民話や紙芝居で本の楽しさを学びます。 ・子供の時のエピソードが書かれている伝記や偉人伝で、いろいろな人を身近に感じて、尊敬したり憧れたりする人を増やします。

3 準備、必要な物

大型絵本を置くための児童用机と椅子、ホワイトボード、磁石

4 対象

1年生～6年生

5 プログラム実施曜日

月曜日～金曜日の終了時刻が4時を過ぎる場合は、実施できない場合があります。

土曜日も含めて、相談の上実施します

6 プログラム料

3,000円/1回

当日、現金でお願いします

7 講師連絡先

平良幸子（たいら さちこ） 045-303-6869 & 090-8811-8464

「横浜すばいす食育の時間」実施概要

<子供たちへの意識化とプログラムの目的>

自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりする

1 プログラムの意図

学童期の子どもにとって、基本的な生活習慣は大切です。どんな食べ物を食べるとよりよく成長し健康になるか、また身に付けたい生活習慣などについても、子どもの目線で一緒に学んでいきます。

2 プログラムの内容【Aコース・Bコースあり、1回45分間】

食の大切さについて横浜市の元栄養教諭がパワーポイントやワークシート・歌などで、楽しくわかりやすく働きかけていきます。

コース	テーマ	内容	備考
A	なぜ食べるのだろう？ 今までの成長を確認し、これからも成長するためには、いろいろな食品を組み合わせさせて食べようとする意欲をもつ	・三色食品群の食べ物をそろえて食べると栄養のバランスがよくなり、元気に成長することを知る 赤のグループの食べ物とその働きを知る 黄のグループの食べ物とその働きを知る 緑のグループの食べ物とその働きを知る	ともだち賛歌 えいよの歌 ワークシート
B	牛乳 ってすごい!	・学童期の成長に欠かせないカルシウムやたんぱく質を豊富に含む牛乳について知る	えいよの歌 ワークシート
	朝ごはん食べてる?	・一日の活動源として、生活習慣として大切であることを知る	

3 対象：全学年（低学年にもわかりやすい内容です）

4 プログラム実施日：ご相談の上、対応します

5 連絡事項

- ① 横浜すばいす担当者と放課後キッズ担当者は事前に連絡を取り合います。
- ② テレビ・パソコン・ケーブル等をご用意ください。
- ③ ワークシート（事前にデータを送付しますので、参加者分のプリント印刷をお願いします）
- ④ プログラム実施の際に、子どもたちへの声掛けなどのご協力をお願いします。
- ⑤ 終了後、アンケート（参加者の学年と人数・感想など）にお答えください。

6 プログラム料：1回 4,000円

プログラム終了後、2週間以内に下記まで振り込みをお願いいたします。

横浜銀行（銀行コード0138）三ツ境支店（支店コード358）

普通口座（口座番号）6103920（口座名）シャ）ヨコハマスパイスショクイクシ

7 連絡先：（一社）横浜すばいす食育事業担当窓口 椎野雅子 m.shiino@y-spice.com



おやこ親子で「^{めいじん}はし名人」にチャレンジ!

<子供たちへの意識化とプログラムの目的>

自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりする

「はし」はつまんだり、^{はこ}運んだり、さいたり、まぜたり……とても便利な食具です。
でも、^{しょくじ}食事の時の^{はし}のはしの^{もちかた}持ち方や^{うごかた}はしの動かし方や^{つかかた}使い方が気になるなあ～
^{おやこ}親子で「^{ただ}正しい^{もちかた}はしの^{うごかた}持ち方・^{かた}動かし方」にチャレンジしてみませんか？

- 1) ^{もくてき}目的： ^{はし}のはしの^{もちかた}持ち方・^{うごかた}動かし方を^{かくにん}確認したり^{れんしゅう}練習したりして、^{おやこ}親子でコミュニケーションを図る
- 2) ^{ないよう}内容： ^{はし}のはしの^{もちかた}持ち方を^{おやこ}親子で^{かくにん}確認し、^{ただ}正しい^{もちかた}持ち方・^{うごかた}動かし方について、^{はこ}はし運びゲームをしながら、^{たの}楽しく^{れんしゅう}練習する
- 3) ^{なが}流れ

① ^{じぶん}自分のはしの^{もちかた}持ち方を調べてみよう！
^{ひだり}左利きの人もどうぞ♡

② ^{はし}のはしの^{もちかた}持ち方を知ろう！

③ ^{はし}のはしの^{うごかた}動かし方を知ろう！

④ ^{うつく}美しくないはしづかい
(^{きら}嫌いばし)って？

⑤ ^{さかな}魚の^た食べ方

⑥ 「^{はこ}はし運びゲーム」をしよう！
いろいろな^{しょくざい}食材をつまんで^{はこ}運んでみよう！

⑦ 「^{めいじん}はし名人」をめざそう！

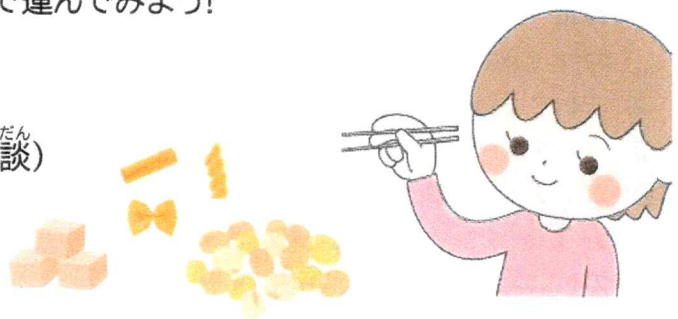


4) ^{かつどうび}活動日： ^{どようび}土曜日・^{ちようききゆうが}長期休暇(要相談)

5) ^{かつどうじかん}活動時間： ^{ふん}60分

6) ^{さんかおやこすう}参加親子数： ^{くみせんご}10組前後

7) ^{りよう}プログラム料： ^{えん}4000円



放課後キッズ親子食育教室
(一社)横浜すぱいす 食育事業担当
椎野 m.shiino@y-spice.com



おやこにほんちゃあじ 親子で「日本茶を味わおう」

<子供たちへの意識化とプログラムの目的>

自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりする

「お茶といえば…」ペットボトルに入っているもの？

ペットボトルのお茶は手軽にいつでも簡単に手に入り

どこでも飲めますが…

たまには、急須と茶葉で淹れる日本茶を味わいませんか？

食事の時や 10時・3時のおやつのかぎらず、「ほっ」と一息つきたい時に…

親子で「お菓子をそえて、おいしいお茶を淹れて」味わってみませんか？



1) 目的：日本の伝統的なお茶を知り、お茶の淹れ方を確認しながら、親子のコミュニケーションを図る

2) 内容：日本茶の種類や淹れる道具を知り、日本茶の淹れ方や飲み方を知り、お菓子を食べながら楽しく味わう 最後に「お抹茶」も味わってみよう！

3) 流れ

① 日本茶の種類を知る
色・香りのちがいを知る



② 日本茶を淹れる時に必要な道具の名前を知る



③ 日本茶の淹れ方を知る

④ お菓子を食べ、いろいろな日本茶を淹れて味や香りのちがいを味わう

⑤ 「日本茶味わい名人」をめざそう！

4) 活動日：土曜日・長期休暇(要相談)

5) 活動時間：60分

6) 参加費用：親子で300円 *参加親子数：10組前後



7) プログラム料：4000円

放課後キッズ親子食育教室
(一社)横浜すぱいす 食育事業担当
椎野 m.shiino@y-spice.com



おやこ親子で「だしについて知ろう」

<子供たちへの意識化とプログラムの目的>

自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりする

皆さんは「うま味」という言葉を聞いたことがありますか？

「うま味」は甘味・酸味・塩味・苦味とともに基本の味といわれています。

煮干し・かつおぶし・こんぶ・しいたけなどからとった「だし」には、それぞれ「うま味」成分がたくさんふくまれています。

素材のちがう「だし」を味わい、「だし」を使って作ったみそ汁を飲みくらべてみませんか。

(1)目的：毎日食べている料理に含まれている「だし」について知り、「だし」の魅力を知ろう

(2)内容：煮干し・かつおぶし・こんぶ・しいたけを観察し、作られる過程を知る
それぞれからとっただしを味わい、味わいの違いを感じる
各種類のだしの入ったみそ汁を飲み比べ、相乗効果についても体験する

(3)流れ

① だしについて知っていることを発表する

② だしに使われる食材(煮干し・かつおぶし・こんぶ・しいたけ)を観察し
だしのとりかたを聞く

③ それぞれの食材(煮干し・かつおぶし・こんぶ・かつおぶしとこんぶの混合だし)
からとっただしを味わってみる

④ それぞれのだしにみそを入れ、飲み比べる

⑤ 感想を発表する

⑥ 「だし味わい名人」をめざそう！

(4)活動日・場所：土曜日・長期休暇(要相談)
できれば家庭科室を借用

(5)活動時間：90分

(6)参加費用：親子で300円

*参加親子数：10組前後

(7)プログラム料：4000円



放課後キッズ親子食育教室
(一社)横浜すぱいす 食育事業担当
椎野 m.shiino@y-spice.com

「力を合わせて 完成!—グループワークトレーニング—」 実施概要

<子供たちへの意識化とプログラムの目的>

ゲーム活動の中で、協力する良さや友達の良さに気づき、集団活動におけるルールの順守の大切さを知り、コミュニケーションの習熟を図り、リーダーの役割の意識化を図ることなどを目的とする。

ゲームによって育てようとする力が異なるが、集団活動の中で個々の力を育てることをめざしている。自分の力に気づいたり、評価されることで自己肯定の意識が芽生えたりすることもある。以下、2例を挙げて紹介する。

例1「人間コピーゲーム」を楽しもう。

1. プログラムの意図

ゲームを通して集団活動の楽しさを味わいながら、自分の役割を正確に果たす、集団活動におけるルールをまもる、グループで相談する良さに気づく、人の良さに気づく、などの力を身につける。

2. プログラムの内容(ゲームの内容)

《進め方》

- ①見本の絵を用意し、誰からも見えないところに置く。
- ②見本の塗り絵をグループから一人ずつ見に来て、グループの塗り絵を完成させる。
※グループ内で相談をし、
※グループ内での話のみできる



3. 用意するもの

- クーピーペンシル(グループ数)
- 塗り絵をする紙(グループ数
講師が用意します。)
- 塗り絵見本(講師が用意します。)

4. 対象

全学年(4~5人のグループに分けておく。)



例2「絵(写真)を完成させよう!」を楽しもう。

1. プログラムの意図

ゲームを通して集団活動の楽しさを味わいながら、自分の役割を正確に果たす、集団活動におけるルールをまもる、グループで相談する良さに気づく、人との対話の仕方を学ぶ、問題解決の方法を考える、などの力を身につける。

2. プログラムの内容(ゲームの内容)

《進め方》

- ①ゲームの説明
- ②完成パズルを想像し、どのピースを集めるか相談する。
- ③グループ内で順番をきめてから実施する。

- ④バラバラになっているパズルのピースを一枚ずつ他のグループのピースと交換して、一つの絵を完成させる。
- ⑤交渉に行く人は一回一人とする。グループに戻るまで次の交渉には行けない。
- ⑥交換を断ることができる。

3. 用意するもの

バラバラにしたパズル
完成したパズルを置く台紙
※講師が用意します。

4. 対象

全学年

(4~5人のグループに分けておく。)



*その他、「何人乗れるかな?」「カードの指示書を読んで宝を探そう」など、グループワークトレーニングの本を参照するといろいろなゲームがあります。ご希望により実施可能です。

6. プログラム実施曜日

水曜日、金曜日

7. プログラム料

1回3000円(当日現金)

8. 連絡先

井坂みち子(080-1192-6306)



放課後学習支援 開発プログラム

川柳を楽しもう 実施概要

<子供たちへの意識化とプログラムの目的>

自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりする

Ⅰ プログラムの概要 この講座は、日本伝統の言語文化である五七五づくりを通して、より豊かな言葉の世界を楽しむ。日常生活の中から見つけたものの事象や感情を短い言葉で表し、表現を豊かにする。友達の作品を鑑賞し、お互いの表現の良さに気づく事を目的としている。

友達の作品の鑑賞を通して・ともに共感し合える仲間づくりをめざし、句の背景にあるものを考察して、今後の児童理解に役立てることもできる。テンポリズム重視し、児童の学びのスイッチをオンにし、子供に向き合う大人の感性を磨く場とする

	テーマ	内容
	①講師自己紹介	まずつかみが大事みんなの学びの味方です
	②川柳ってなんだろう	子ども川柳を次々と紹介する 子ども達の反応をみながら、クラスの学び力をつかむ
	③五七五の基本を知る	流れの中で自然に必要なことを学べるようにする ここに時間をかけないのが大事なり
	④穴あき川柳にチャレンジする	わかりやすい句からだんだん難解句へ向かう ここで思いっきり盛り上げることが異句につながる
	⑤句を作る	鉛筆出して!のひと言でさっと準備できればもう大丈夫 はじめの1分でできた子らの句をすかさず数句詠む 1枚に-句名前無し新しい句紙を渡すアイコンタクトひと言
	⑥句作のエンジンを上げる	クラスの学びの流れの中で場に応じて合いの手をいれる 後5分後一句で終わり終了をつける
	⑦鑑賞する	巡回しながら紹介する句をすでに選んでおく 担任も同じように児童の句を選んで発表する
45分	⑧まとめをする	短い言葉でも自分の思いを伝えられる心地よさに気づいたかな

2 対象

関心のある子供たち

3 準備、必要な物

児童:机には筆記用具のみ

教師:黒板マグネット 20 個、句せん用短冊 200枚(大きさ A4 用紙四つ折り)、

ざら紙でよし"タテ 21cm ヨコ 7cm

4 プログラム実施曜日

相談の上実施します。

5 プログラム料 3000 円/1 回

プログラム終了後、プログラム料のお支払いをお願いいたします

6 講師連絡先

熊田 松雄(くまだ まつお) kuma5023op@docomo.ne.jp 090-5430-2934

かせき
「化石ハンターになろう！」 実施概要

<子供たちへの意識化とプログラムの目的>

自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりする

「化石ハンターになろう！」

栃木県塩原湖成層（第四期更新世中期）数十万年前の化石を取り寄せました。化石を取り出す技能を身に付けるために、「貝殻偽化石」で化石探しを練習します。本物の化石を取り出し、地球のつくりや古代に思いを馳せ、インディージョーンズのような考古学者を夢見るような子供を育てていきます。

1 プログラムの意図（講師の思い）

化石を発見する活動を通して、地球への問い、足下の地面の中で起きていることへの問いを持つことが一番の目的です。子供たちは恐竜の化石には関心があり、知っている子供もいるので、その想いを一歩作に進めます。

このプログラムでは、栃木県の「木の葉」の化石を取り出します。化石や地層、地球に関わる読み物にもふれ、身の回りのふしぎに気づき、問いを持ち、仲間と議論する楽しみを育みます。

2 プログラムの内容（90分）

準備：記録用の鉛筆、化石を持ち帰るビニル袋（そのほかは、持参いたします）



3 対象

- (1) 2年生以上から実施可能です。人数は、最大12人が理想です
- (2) 親子でも実施できます（土曜日・長期休業中）

4 プログラム実施曜日

火曜日、木曜日、金曜日、土曜日、長期休業中で相談の上実施します

5 プログラム料（交通費要相談）

- (1) 子どもキッズプログラム 60分 3,000円/1回（+化石の原石代：一人200円）
- (2) 親子プログラム 90分 3,000円/1回 （+化石の原石代：一人200円）
- (3) 振り込み先 横浜銀行 伊勢佐木町支店 314 口座番号 1201368

6 講師連絡先

横浜すぱいす 北村克久 k.kitamura@y-spice.com 090-8744-4095

生成 AI 親子教室 実施概要

<子供たちへの意識化とプログラムの目的>

自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりする

1 プログラムの意図（講師の思い）

AI って聞いたことあるけどなんだろう？

生成 AI は AI と何がちがうだろう？

子供は、13 歳まで一人で勝手に使ってはいけない約束になっています。だからといって、子供は使ってはいけない！ということではなく、保護者の許可があれば、有効に活用することができます！

だからこそ、この講座は、『親子講座』トなっています。

「生成 AI」について、使い方のコツや気をつけることを、親子で楽しく学んで、子供や保護者の助けになればいいなと思っています。

はじめてでも大丈夫！

みんなで未来をのぞいて、チャレンジしてみよう！

2 プログラムの内容（90 分）

準備：◆保護者のスマホ

※ 生成 AI が使えるといいです。まだアプリが入っていない場合は、チャット GPT、GEMINIなどのアプリをインストールしてくると一緒に楽しめます

◆親子に、それぞれ筆記用具

◆プロジェクターで投影するスクリーン

◎キーワードは、「AI」「生成 AI」「プロンプト」「3 つのコツ」「気をつけること」

◎計算が速くなるには？ テストで 100 点取るには?? 生成 AI に聞いてみよう！

3 対象

親子なので、何年生でも実施できます

4 プログラム実施曜日

相談の上実施します

5 プログラム料（交通費要相談）

すばいすチャレンジプログラムのため、**2026 年度は無料！**

6 講師連絡先

横浜すばいす 北村克久 k.kitamura@y-spice.com 090-8744-4095